

## △使用上の注意



### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること  
次の診断を受けた人。  
フェニルケトン尿症

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
消化器	吐き気・嘔吐、胃部不快感、胃部膨満感、食欲不振

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること  
下痢

4. 1 ヶ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

## <用法・用量に関連する注意>

(1)ハイシープラス  
小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

(1)ハイシー 1000  
(2)ハイシープラス  
用法・用量を厳守すること。

## <成分に関連する注意>

(1)尿および大便の検査を受ける場合には、本剤を服用していることを医師に知らせること（尿および大便の検査値に影響をおよぼすことがある）。

(2)本剤の服用により尿が黄色くなることがありますが、リボフラビン酪酸エステルによるものなので心配ありません。

## 保管および取扱い上の注意

(1)ハイシー 1000  
直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。

(1)ハイシープラス  
直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。なお、本剤はとくに吸湿しやすい製剤なので、服用のつどピンのフタをしっかりとしめること。

本剤はL-フェニルアラニン化合物の甘味料（アスパルテーム）を使用しているため、フェニルケトン尿症<sup>16)</sup>の人は服用しないよう注意を喚起したものです。  
巻末の用語解説 16) 参照

本剤の服用により、人によってはこれらの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合には服用を中止し、医師、薬剤師または登録販売者に相談していただくための注意です。

この症状は、服用を一時中止すれば消失するものですが、症状の持続または増強が見られた場合には、他に原因があることも考えられるので、医師、薬剤師または登録販売者に相談していただくための注意です。

1 ヶ月位服用しても症状がよくなる場合は、他に原因があることも考えられます。症状がよくなるまま服用を続けると悪化することも考えられるため、医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者に相談していただくための注意です。

共通事項解説〔6〕参照

共通事項解説〔7〕参照

アスコルビン酸（ビタミンC）には還元作用がありますので、還元作用や酸化作用を利用した尿や大便の検査（例えば尿糖検査や潜血反応など）に対して、その検査を妨害することがあるための注意です。

あらかじめ検査日がわかっている場合には、事前に医師に相談していただくための注意です。

体内に吸収されたりボフラビン酪酸エステル（ビタミンB<sub>2</sub> 酪酸エステル）は、一部がビタミンB<sub>2</sub>として尿中に排泄されます。ビタミンB<sub>2</sub>は黄色の蛍光を発するため、尿が黄色くなります。

共通事項解説〔9〕参照

共通事項解説〔9〕参照  
共通事項解説〔13〕参照

【使用上の注意】

【解 説】

共通事項解説はこちら

- |  |              |
|--|--------------|
| (2)小児の手の届かない所に保管すること。  | 共通事項解説〔10〕参照 |
| (3)ハイシー 1000   | 共通事項解説〔14〕参照 |
| (5)ハイシープラス<br>使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。  |              |
| (3)ハイシープラス<br>他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。   | 共通事項解説〔11〕参照 |
| (4)ハイシープラス<br>ビンの中の詰め物は、フタをあけた後はすてること（詰め物を再びビンに入れると湿気を含み品質が変わるものになる。詰め物は、輸送中に錠剤が破損するのを防止するためのものである）。 | 共通事項解説〔12〕参照 |
| (6)ハイシープラス<br>箱とビンの「開封年月日」記入欄に、ビンを開封した日付を記入すること。   | 共通事項解説〔15〕参照 |
| (7)ハイシープラス<br>一度開封した後は、品質保持の点から開封日より6ヵ月以内を目安になるべくすみやかに服用すること。  | 共通事項解説〔16〕参照 |